

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 精神科デイケア利用者における身体組成・生活状況・気分と新体力テスト結果の関連についての研究

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 精神科リハビリテーション部

作業療法士 天野英浩

【本研究の目的及び意義】

精神障害を持つ方は、日常生活で身体を動かす機会が少ない、運動習慣がない、食事や睡眠などの生活習慣が乱れる、などの理由から、身体疾患を持つ割合が高いとされています。身体疾患を長く放置することは、健康寿命にも影響します。健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」をさしますが、「日常生活を支障なく送る」という点は、リハビリテーションがめざす基本的なものです。この研究では、まず、デイケア利用者の身体組成(筋肉量や体脂肪量)、生活習慣(睡眠や身体を動かす時間)、気分(抑うつ程度)などが体力にどの程度関連があるかの現状を明らかにします。体力の評価は、「文部科学省 新体力テスト(20歳～64歳用)」により行います。研究を通して、身体組成・生活習慣知、気分と体力の影響を明らかにし、周知と改善を図り、身体有病率の低減や健康寿命の延伸に繋げてゆくことが、この研究の目的です。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2020年4月から2020年12月までの間に国立精神・神経医療研究センター病院デイケアにおいて、「身体組成」、「日常生活」、「気分」、「文部科学省 新体力テスト(20歳～64歳用)」の評価を1つ以上受けた方。

利用する試料・情報等

試料：ありません。

情報等：診療情報(性別、年齢、IN BODY470 を用いて行った身体組成、記入して頂いた生活行動記録表に記載された諸活動の時間、PHQ-9の得点、文部科学省・新体力テストの得点)

研究期間

2020年12月24日より2022年3月31日まで

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 精神リハビリテーション部 氏名 天野 英浩

電話番号 (042) 341-2711

作成年月日：2021年1月5日 第1.1版

e-mail: moritamikako33※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)